

2017年 10月

通号70号

障がい学生支援室だより

学生総合支援センター 障がい学生支援室 発行



みなさん、こんにちは。

3学期がスタートしましたね。お休みの間は、有意義な時間を過ごすことができましたか。

さて、今回は、カイル・メイナード というアメリカのアスリートについてご紹介します。

カイル・メイナードの挑戦に想う

◆2つの最高峰登頂に成功

皆さんは、カイル・メイナードというアスリートのことをご存知でしょうか。

彼はアメリカ生まれの若者で、レスリング競技においてジョージア州大会で優秀な成績をおさめたほか、数々の賞も手にしてきました。ところが彼には、生まれながらにして両手・両足が肘・膝関節より欠損しているのです。このような生まれにありながら、障がい者の大会ではなく、並み居る強豪が集う一般のレスリング大会で勝ち星を増やしていきました。

2012年のことです。成人した彼は、アフリカ大陸最高峰のキリマンジャロに登頂することを決意します。手足に取り付ける特別な用具などは、賛同企業からの支援を受けたとのことですが、登攀に関しては、自分だけの力で登り続けていきます。苦難と努力の末、キリマンジャロの頂[※] 5895m地点に、彼は到達することができました。

その後も彼は、登山のトレーニングを続け、2016年には南米最高峰である、アコンカグア(6962m)の登頂にも成功しています。彼のあくなき挑戦は、彼の著作のタイトルである“*No Excuses*”のスローガンのもとに、これからも続いていくことでしょう。

※とうはん。高い山などをよじ登ること。

◆不自由からの解放

このカイル・メイナードのストーリーを、奇跡とか感動とかの言葉で表現することは、たやすいことです。その結果、彼は legend (偉人) と呼ばれ続けていくことになるかもしれません。

人は時に偉人にあこがれ、その偉業をたたえますが、その一方で、「あの人はあの人だからすごいんだ。到底ぼくには無理だ」と、自分自身のことになると、ブレーキを踏んでしまう場合が多いのではないのでしょうか。

カイル・メイナードの足跡は、たしかに万人に称えられるべき偉業ではありますが、彼にとっては、ごくごく当たり前の、「自分がしたいことをした」という、シンプルなものなのではないかと考えています。また、そのような熱をはらんだ前進には、あたかも台風が周りを巻き込んで進んでいくがごとく、たくさんの支援者や賛同者を呼び寄せるエネルギーがあるように感じます。

カイル・メイナードは、四肢が不自由であるという意味合いにおいて「障がい者」といえますが、決して支援が施されるのを待つのではなく、支援を自ら組織することによって、不自由な状態から解放されているのではないのでしょうか。

◆「言い訳しない」

胸のすくようなヒーロー譚に心を躍らせるのも、最高のエンタテインメントです。しかしながら、そのヒーローの人間像に目を向け、自分自身のことに置き換えてみるのも、時には必要かもしれません。

「自分は今、自分がしたいことに、全力で向かっているだろうか」

カイル・メイナードを偉人に押し上げてしまって、遠い存在に置くのではなく、「言い訳しない (“*No Excuses*”) 」という、彼という一人の同じ人間からのメッセージを、こちらも一人の同じ人間として受け止めたいものです。

そういった意味で、学生のみなさんにとって、大学はさまざまな挑戦のできる場所ですので、自分らしい、けれどもどうせやるなら最高峰を目指していけたらいいなと思います。



「*No Excuses*」 出版社：
Regnery Pub; Reprint 版
(2006/09)
※英語版のみ

ご案内

手話講座(入門編)

障がい学生支援室では、2017年10月16日(月)16:30~17:30
手話講座(入門編)を開催します(協力:手話サークル「ふくろうのて」)。

「手話」について、初歩的なものを学びます。
この機会に、「手話」に触れてみませんか!

【申込方法】

「氏名、学部・学科、学年、学生番号」を障がい学生支援室
shien-dr@okayama-u.ac.jp宛にメールでお知らせください。

【持参するもの】 筆記用具

【その他】 場所は、申込された方には、別途連絡します。

【申込期限】 10月16日(月)10時(厳守)



講義のご紹介

障がい学生支援室では、3学期より「バリアフリーとアクセシビリティ」という新たな講義を開始することになりました。

本年度中は、2年生以上が対象となります。興味がある皆さんは、ぜひ4学期に受講してみてください。(4学期:火曜日7、8限目)

【授業の概要】

2014年に「障害者の権利に関する条約」が批准された。今後は、障がいを有する人々の意思疎通支援等、アクセシビリティを保障する社会が標榜されていくことになる。このような状況を踏まえ、この授業では、バリアフリーに関する現状を把握し、基礎的な知識について理解を深める。また、適切に支援を実施するための技法・留意点等について学び、インクルーシブ社会実現の担い手としての視野を広げることができる。

報告

障がい学生支援研修会

8月24日(木)13時30分~16時30分、「平成29年度障がい学生支援研修会」が、岡山大学にて開催されました。本学障がい学生支援室の池谷航介氏が「事例から学ぶ発達障がい学生への学外実習支援」という基調講演を行い、その後、「事例について考える」をテーマに、グループワークを行いました。県内外の大学教職員、高等学校・小・中学校教職員から約80名の参加がありました。



障がい学生支援室のノートテイクが、パソコンテイクによって、講演者の話をリアルタイムでプロジェクターに字幕投影し、情報保障を行ってくれました。

※ノートテイクによる字幕が投影されたスクリーン(写真右側)

岡山大学
学生総合支援センター
障がい学生支援室

【場 所】 一般教育棟D棟1階
【開室時間】 月~金:10:00~12:00/13:00~17:00
【連絡先】 086-251-8553(支援室受付)
【E-mail】 shien-dr@okayama-u.ac.jp

